

発達障害サービス局

1215 O Street, MS 7-40
Sacramento, CA 95814
TTY: 711
(916) 461-0061



日付： 2022年7月22日

宛先： 地域センター事務局長

件名： 自己決定プログラムのための地域ボランティア諮問委員会の会議

2015年8月6日、発達障害サービス局（当局）は、自己決定プログラムのための地域ボランティア諮問委員会（LVAC）が政府法典11120条～第11133条のバグリー＝キーン公開会合法（バグリー＝キーン法）の要件に従う必要がある旨を、地域センターに通知しました。この書状の目的は、バグリー＝キーン法に従ったLVAC会議の実施に関する更新された情報とガイダンスを提供することです。

2023年7月1日まで、テレカンファレンスによるLVAC会議が許可され、物理的な出席を求める定足数要件が停止に

州知事はCOVID-19による公衆衛生緊急事態を踏まえ、行政命令（N-25-20）を発出しました。この命令により、LVACを含む委員会がテレカンファレンス会議を実施することが認められ、バグリー＝キーン法に基づく物理的な出席を求める定足数要件が停止されました。この行政命令は、下院法案第361号（2021年制定法第165章）とともに、公衆の電子的な会議参加が可能な限りにおいて遠隔会議を弾力措置として暫定的に認めるものです。2022年1月5日、州知事は、遠隔会議を認めるこれらの弾力措置を2022年4月1日まで延長する追加の行政命令（N-1-22）を発出しました。

上院法案第189号（2022年制定法第48章）により、これらのバグリー＝キーン法弾力措置は2023年7月1日まで延長されます。具体的には、上院法案第189号は、政府法典第11133条を変更し、要件を修正することによって、地域センターのLVACを含む州の組織が、COVID-19にさらされる可能性を抑えながら、テレカンファレンス公開会議を実施して公衆の参加を促進することができるようにするものです。

2022年7月1日から2023年7月1日まで、LVACは、LVACでの傍聴および発言を求める公衆の全員に対して電話でまたは電子的に公開会議に参加できるようにする場合、テレカンファレンスによる公開会議を実施することが以下の条件で許可されます。

- 地域センターおよびLVACは、会議中に協議または議決を予定するすべての項目を記した議題を、会議の少なくとも10日前までに通知しなければなりません。

「パートナーシップを築き、選択をサポートする」

- 通知および議題には、(1) 会議の日時、(2) 電話のかけ方と電話番号、会議のテレカンファレンスのリンクなど、公衆が会議を傍聴し発言する方法についての指示、(3) 協議または議決を予定する項目の簡単な説明、(4) 個人が障害関連の変更・便宜や通訳者・世話人の手配を要請し、取得する方法についての情報が明記されている必要があります。
- テレカンファレンス会議は、公衆がアクセスできるものである必要があります。通知と議題は、地域センターのウェブサイト内の見つけやすい場所に掲載しなければなりません。また、LVACの全委員および連絡先情報を提供した公衆に、通知と議題を送付しなければなりません。
- LVAC会議で利用するテレカンファレンスの方法は、公衆が遠隔の場所から会議参加者に対して発言できるものでなければなりません。
- 議題には、公衆が会議において傍聴・発言する方法についての指示が含まれていなければなりません。公衆が会議において傍聴・発言する方法に変更がある場合、地域センターとLVACは、その時点で利用可能な最も迅速な通信手段を使って、修正した指示を周知することができます。このような通信には地域センターのインターネットウェブサイトに表示を掲載することが含まれますが、これに限られません。
- 地域センターおよびLVACが、公衆が傍聴・発言できる物理的な場所を用意する必要はありません。
- 地域センターおよびLVACは、連邦の1990年障害を持つアメリカ人法（合衆国法典第42編第12101条以下）に従い、障害を持つ方から相応の変更または便宜の要求があった場合にそれを受理し迅速に解決する手順を実行し、どのような懸念もアクセシビリティを優先して解決する必要があります。
- 地域センターおよびLVACは、公衆が会議において傍聴・発言する方法について通知を行う際には毎回、相応の変更または便宜の要求を解決する手順を周知する必要があります。
- 地域センターおよびLVACは、透明性を最大限に高め、LVAC会議に公衆が参加できるようにするため、本来なら適用されるバグリー＝キーン公開会合法の規定を合理的に可能な限り厳密に遵守できるよう、適切な裁量を行使して相応の努力を払うことが強く求められます。

地域センター事務局長

2022年7月21日

ページ 3

2022年7月1日から2023年7月1日まで、バグリー=キーン法に定められた以下の公開会議要件は**停止**となります。

- 公開会議の参加または定足数の条件として LVAC の委員、書記、その他の職員、または公衆の物理的な出席を義務付けるバグリー=キーン法のすべての要件。
- LVAC 委員がテレカンファレンスにより公開の会議または議事に参加する各場所は、その会議または議事の通知および議題に記載されている必要があります。
- テレカンファレンスの各場所は、公衆がアクセスできるものである必要があります。
- 公衆は、テレカンファレンス会議の各場所において LVAC に対し発言することができます。
- 議題はテレカンファレンスのすべての場所に掲示されている必要があります。
- 会議通知に記載された場所に、LVAC 委員が少なくとも 1 人、物理的に出席している必要があります。

当局では、LVAC が通常の会議を再開し、本状および上院法案第 189 号に定められた要件に沿って会議を実施することを強く推奨しています。

本状に関して不明な点がある場合は、ティム・トラビス (Tim.Travis@dds.ca.gov または (951) 394-0590) までお問い合わせください。

敬具

マリクリス・エーコン
デピュティー・ディレクター
連邦プログラム・ディビジョン

cc: Regional Center Administrators (地域センター管理者)

地域センター事務局長
2022年7月21日
ページ4

Regional Center Directors of Consumer Services (地域センター消費者サービス担当ディレクター)

Regional Center Community Services Directors (地域センターコミュニティサービス担当ディレクター)

Association of Regional Center Agencies (地域センター機関協会)

State Council on Developmental Disabilities (発達障害に関する州カOUNシル)

Disability Rights California (障害者権利カリフォルニア)

cc: ナンシー・バーグマン、DDS
ブライアン・ウィンフィールド、DDS
カーラ・カスタニェーダ、DDS
ジム・ナイト、DDS
アーニー・クルス、DDS
アロン・クリスチャン、DDS
ティム・トラビス、DDS